

グローバル・ヘルスケア & バイオ・ファンド

愛称：健次

追加型投信／内外／株式



作成対象期間：2024年8月28日～2025年2月27日

第 42 期 決算日：2025年2月27日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、世界主要先進国市場のヘルスケア・バイオ関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、ファンダメンタルズの健全な企業へ長期的なバリュー投資を行うことで信託財産の中長期的な成長を目指して運用することを目的としております。ここに運用状況をご報告申し上げます。
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第42期末 (2025年2月27日)

基準価額	9,183円
純資産総額	246,530百万円
騰落率	-8.2%
分配金合計 ^(*)	0円

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

当期間（過去6ヵ月）の運用で主眼をおいたポイントをご説明させていただきます。

ファンダメンタルズ分析による徹底したボトムアップ・アプローチに基づき、先進的な研究開発力などを背景に中長期で堅調な業績が見込まれる銘柄を中心に投資を行いました。

第42期末における主なヘルスケア・バイオ関連株への投資のポイント

ポートフォリオの構築について

ポートフォリオの構築については、世界の主要先進国市場の製薬、バイオテクノロジー、医療製品、医療・健康サービス関連企業などのヘルスケア・バイオ関連株を投資対象とし、これらの企業に分散投資を行いました。また、短期的に株価が上昇した銘柄を一部売却し、逆に株価が下落した銘柄を買い増すことで、リスクを低下させつつ魅力的な運用成果を追求する投資を行いました。引き続き、先進的な研究開発力などを背景に中長期で堅調な業績が見込まれる銘柄を中心に投資を行います。

2025年のヘルスケア・サブセクターの見通し 医薬品およびバイオテクノロジー

医薬品およびバイオテクノロジーセクターにおいては、肥満、がん、遺伝子治療などの領域で革新的な新薬を開発している企業が多く存在しています。近年、米国のインフレ抑制法案の薬価引き下げが関連銘柄にとって逆風となっていました。トランプ大統領の就任により、大幅な価格引き下

げを回避できたと考えています。2025年に向けて、大幅な薬価引き下げの懸念は払拭され、逆風も落ち着いた環境下、今後は特に豊富なパイプラインを有する企業の発掘に主眼を置いています。

また、大型の医薬品およびバイオテクノロジー企業においても、主力薬の特許切れが控えているため、買収が積極化される環境下において、トランプ大統領当選による連邦取引委員会の規制緩和は追い風になると考えています。さらに、これらの企業のパイプライン不足を解消する潜在的な解決策として、多くの中小企業が新薬の開発に注力している点も評価しています。

肥満治療薬においては、減量効果に加え、心疾患や腎臓病などの治療薬としても適応が拡大しており、製造能力の増強に伴い供給不足が解消され、売上成長が期待できます。新しい経口薬の導入などにより、同薬の普及がさらに加速し、長期的には現在の4倍近くの利用者になると想定しています。がん治療薬においても、引き続き抗体薬物複合体（ADC）の分野に注目しています。ADCは、がん細胞などを標的認識する抗体に低分子医薬品を適切なリンカーを介して結合させた医薬品で、抗体医薬品と化学療法剤の長所を併せ持つ構造のがん治療薬です。2024年には、第一三共の予想を下回る治験結果や数値に市場が過剰に反応したと考えており、引き続き同社を選好しています。

遺伝子治療においても、アルニラム・ファーマシューティカルズなどが心筋症や神経障害などの適応症において、RNA干渉治療薬の有効性を示す治験結果を発表しており、従来では治療が不可能だった疾患や領域において革新的な治療法が見込めます。

前記は、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーの資料を基に、三菱UFJアセットマネジメントが作成したものです。

ヘルスケア・プロバイダー／サービス

ヘルスケア・プロバイダー／サービスセクターにおいては、トランプ大統領の就任や病院利用率の安定化に伴い、同セクターの重石が払拭され、多くの投資機会が存在しているとみています。特に、2024年においてメディケア（高齢者向け公的医療保険制度）では米国政府の補助金削減や病院利用率の増加、メディケイド（低所得層向けの公的医療保険）においてコロナ禍で一時的に拡大された受給資格の見直し実施によるコスト増加により、市場が過剰に反応したとみています。さらに、ユナイテッドヘルス・グループとヒューマナは、それぞれサイバー攻撃とメディケア品質スコアの低下という特有の逆風に見舞われました。ただし、ユナイテッドヘルス・グループはオプタム事業（医療サービス部門）の成長やヒューマナは2027年までに品質スコア改善から大きな恩恵を受けると見えています。同セクターにおいては、高齢化などの人口動態、メディケア企業のバリューベースドケアへの移行、トランプ大統領の就任によるメディケア企業への払い戻し率の見直しなどの追い風の恩恵を受ける企業が多く潜んでいます。

ヘルスケア機器・用品およびライフサイエンス・ツール／サービス

ヘルスケア機器・用品およびライフサイエンス・ツール／サービスセクターにおいては、革新的な技術を有している企業に引き続き注目しています。ヘルスケア機器・用品セクターでは、特に心疾患

領域にて、革新的な技術により、大幅な売り上げ成長が期待できると考えています。特に、心臓弁治療製品などを手がけるエドワーズ・ライフサイエンスや最小侵襲医療具の開発・製造などを手がけるポストン・サイエンティフィックを選好しています。ライフサイエンスツールセクターにおいても、金利のピークアウトや中国政府の経済成長への政策転換により、バイオプロセッシング関連製品を中心に需要の回復を期待しています。



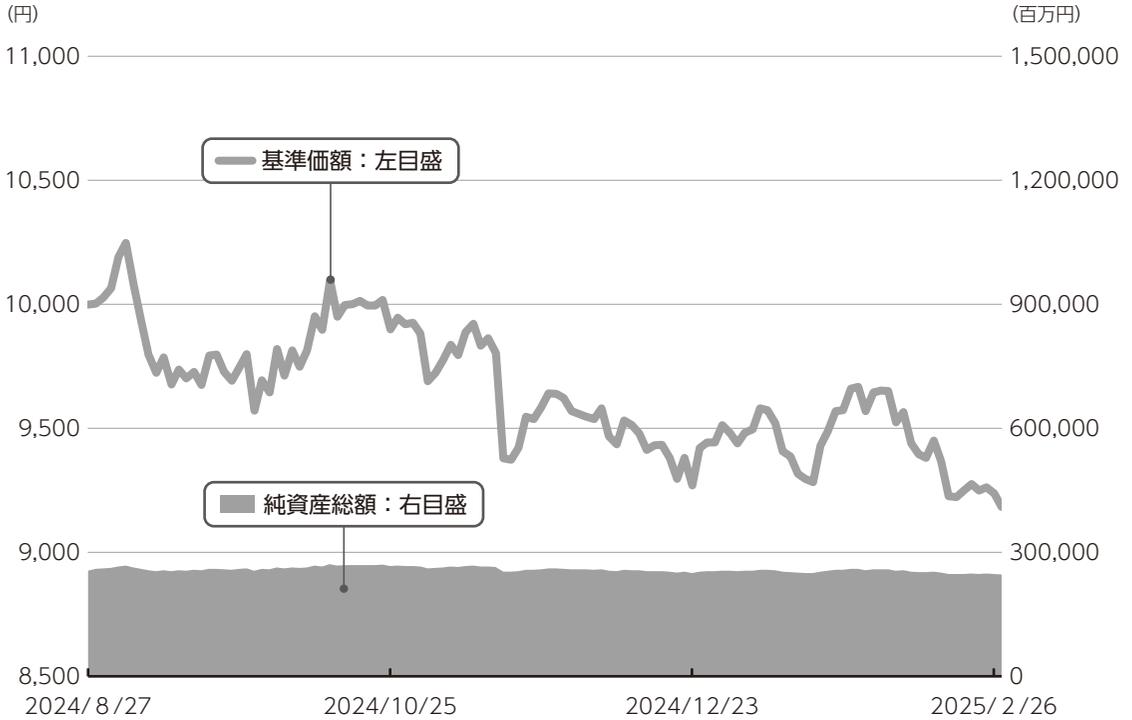
ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー
シニア・マネージング・ディレクター、
ポートフォリオ・マネジャー兼アナリスト
レベッカ・サイクス

運用経過

第42期：2024年8月28日～2025年2月27日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第42期首	10,000円
第42期末	9,183円
既払分配金	0円
騰落率	-8.2%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ8.2%の下落となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因

下落要因

保有するユナイテッドヘルス・グループやノボ・ノルディスクなどの株価が下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

2024年8月28日～2025年2月27日

1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	118	1.220	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(69)	(0.721)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(43)	(0.444)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.055)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.011	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(1)	(0.011)	
(c) 有価証券取引税	1	0.007	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(1)	(0.007)	
(d) その他費用	1	0.008	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.007)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	121	1.246	

期中の平均基準価額は、9,636円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

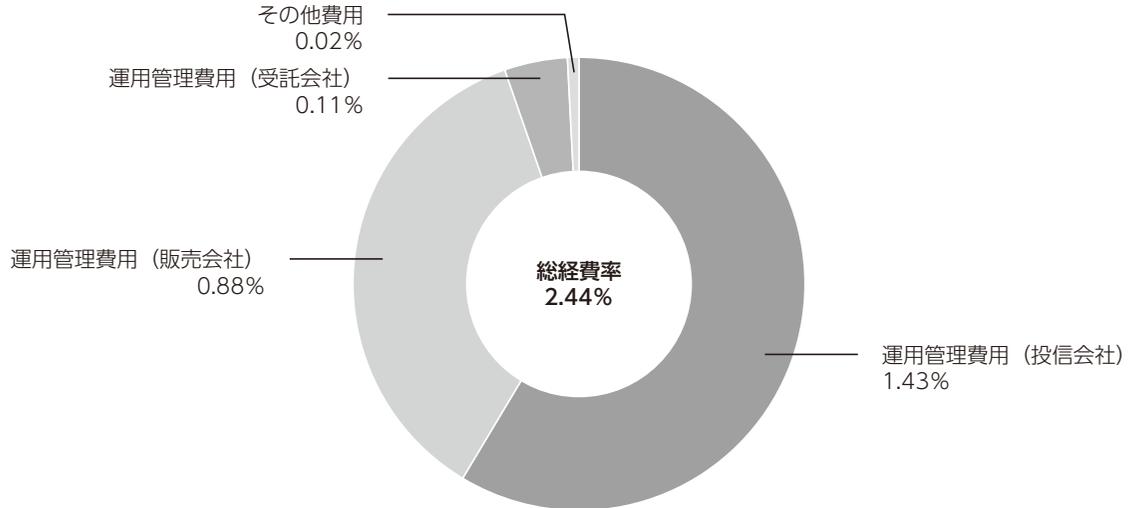
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.44%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

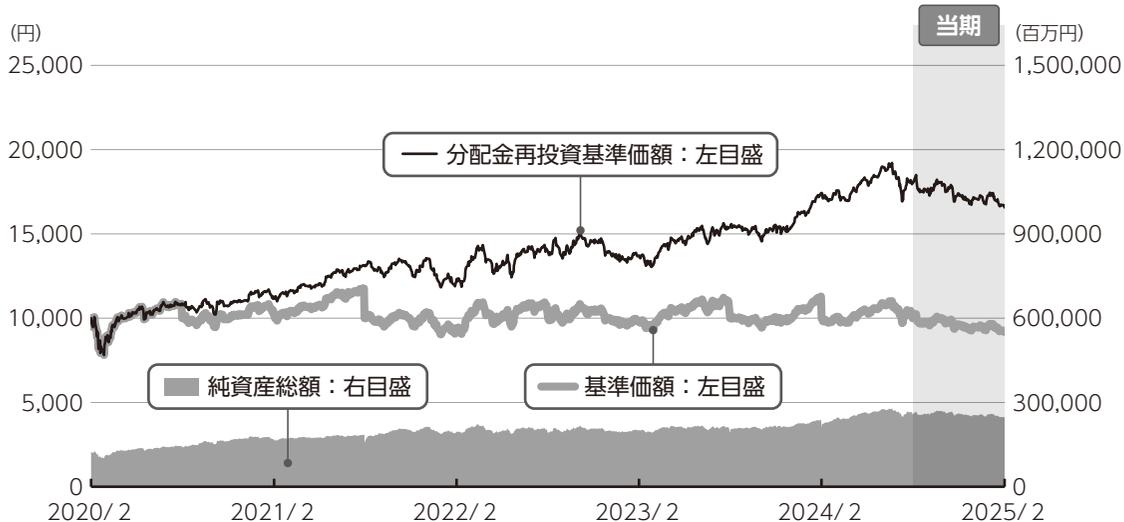
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2020年2月27日～2025年2月27日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額は、2020年2月27日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2020/2/27 期初	2021/3/1 決算日	2022/2/28 決算日	2023/2/27 決算日	2024/2/27 決算日	2025/2/27 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,000	9,425	9,843	10,000	9,183
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	1,137	1,730	636	2,375	355
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	11.6	10.6	11.1	27.1	-4.9
参考指数騰落率 (%)	—	15.9	12.7	-1.7	15.0	2.0
純資産総額 (百万円)	124,553	163,177	197,157	201,394	211,172	246,530

※ファンド年間騰落率は、参考指数年間騰落率と比較するため、収益分配金 (税込み) を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※参考指数は米ドル建てであり、為替を考慮していない点にご留意ください。

参考指数は、MSCI ワールド・ヘルスケア指数 (米ドル建て税引き後配当込み) の基準日前営業日の指数をグローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンドの設定時 (2000年7月28日) を10,000として三菱UFJアセットマネジメントが指数化したものです。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第42期：2024年8月28日～2025年2月27日

▶ 投資環境について

参考指数の推移 (期首を100として指数化)

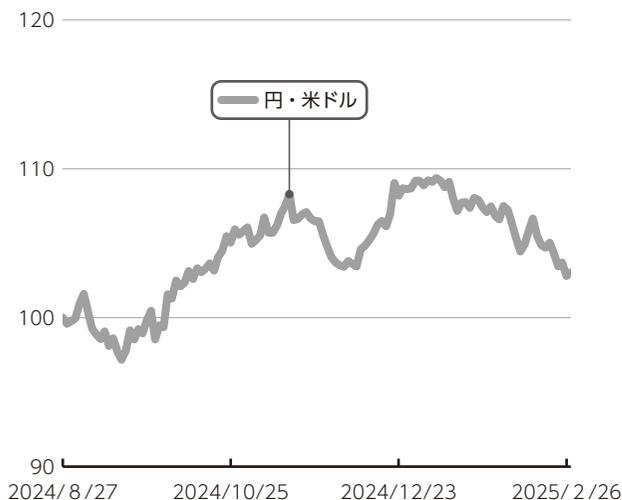


▶ 株式市況

株式市況は下落しました。

米雇用統計などの経済指標の堅調な結果を受けて、米国を中心に利下げ観測が後退したことなどがマイナス材料となり、期間を通じてみると下落しました。

為替市況の推移 (期首を100として指数化、対円)



▶ 為替市況

米ドルは対円で上昇しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド

グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、実質的な運用はマザーファンドで行いました。実質外貨建資産については為替ヘッジを行いませんでした。

▶ グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド

世界の主要先進国市場の製薬、バイオテクノロジー、医療製品、医療・健康サービス関連企業などのヘルスケア・バイオ関連株を投資対象とし、これらの企業に分散投資を行いました。運用手法はファ

ンダメンタルズ分析による徹底したボトムアップ・アプローチに基づき、銘柄の時価総額規模にとらわれず、今後長期的に株価の上昇が見込まれる銘柄や市場平均以上の収益拡大が見込まれると判断される銘柄などにバリュー投資を行いました。なお、運用指図に関する権限をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託しています。

主な新規組入銘柄

ウォータース (米国)：分析機器への需要回復期待などから新規に組入れました。

主な全売却銘柄

ファイザー (米国)：経営陣の能力に対する懸念などから全売却しました。

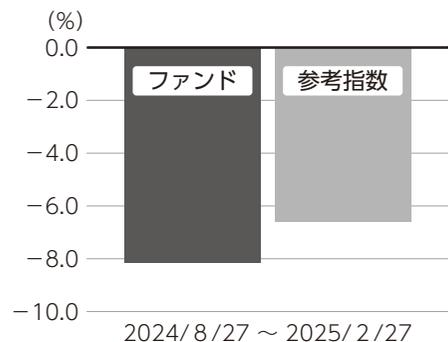
▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はMSCI ワールド・ヘルスケア指数（米ドル建て税引き後配当込み）です。

参考指数は米ドル建てであり、為替を考慮していない点にご留意ください。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準・市況動向等を勘案し、分配金額を決定します。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）この結果、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第42期 2024年8月28日～2025年2月27日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	10

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド

引き続き、グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンドを主要投資対象とし、実質的な運用はマザーファンドで行います。実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

▶ グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド

引き続き、世界の主要先進国市場の製薬、バイオテクノロジー、医療製品、医療・健康サービス関連企業などのヘルスケア・バイオ関連株を投資対象とし、これらの企業に分散投資を行う方針です。なお、運用指図に関する権限をウエリント

ン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託しています。

個別企業の長期的な収益成長力などを評価し、個別銘柄の選別を行い、先進的な研究開発力などを背景に中長期で堅調な業績が見込まれる企業を中心に投資を行っていく方針です。今後、バイオテクノロジー技術の発展や、医薬品、医療サービスへの価格抑制圧力は企業間のグローバルな優勝劣敗をもたらすと予想され、個別銘柄の選別がより重要と考えています。また、短期的に株価が上昇した銘柄を一部売却し、逆に株価が下落した銘柄を買い増すことで、リスクを低下させつつ魅力的な運用成果の追求をしていく方針です。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

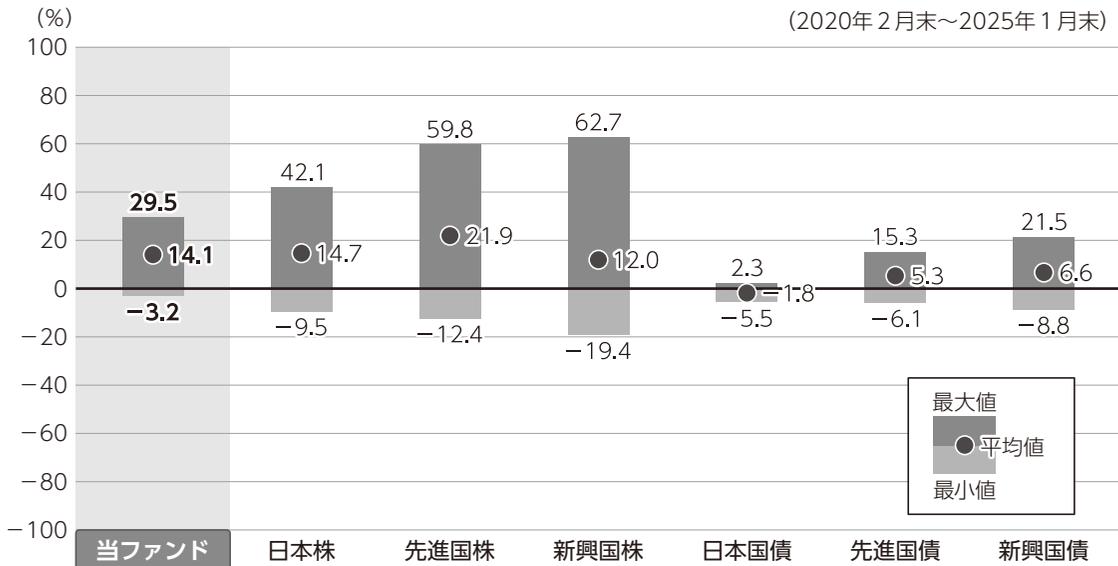
- ・東京証券取引所の取引時間の延伸に伴い、申込締切時間の変更を行いました。詳細は、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) から当該ファンドページの目論見書をご覧ください。(2024年11月5日)

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	無期限（2004年2月27日設定）
運用方針	ファミリーファンド方式により、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	<p>■当ファンド グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド受益証券</p> <p>■グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド 世界主要先進国市場のヘルスケア関連企業およびバイオテクノロジー関連企業の株式</p>
運用方法	<p>世界主要先進国市場のヘルスケア・バイオ関連企業の株式を主要投資対象とします。ファンダメンタルズの健全な企業へ長期的なバリュー投資を行います。</p> <p>外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。</p> <p>マザーファンドの株式等の運用指図に関する権限は、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託します。</p>
分配方針	<p>毎年2月27日および8月27日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準・市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）</p>

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2020年2月から2025年1月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversifaid

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2025年2月27日現在

▶ 当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第42期末 2025年2月27日
グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド	99.1%

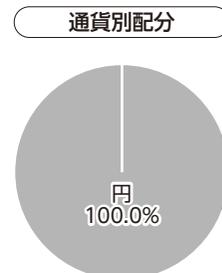
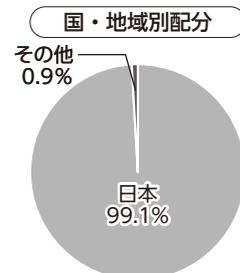
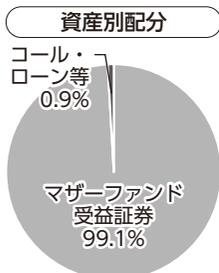
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

純資産等

項目	第42期末 2025年2月27日
純資産総額 (円)	246,530,906,552
受益権口数 (口)	268,460,390,504
1万口当たり基準価額 (円)	9,183

※当期中において追加設定元本は34,397,378,817円
同解約元本は 21,618,242,051円です。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類していません。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

154003

2025年2月27日現在

組入上位ファンドの概要

グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド

基準価額の推移

2024年8月27日～2025年2月27日



1万口当たりの費用明細

2024年8月28日～2025年2月27日

項目	第246期～第251期	
	金額(円)	比率(%)
(a)売買委託手数料 (株式)	19 (19)	0.011 (0.011)
(b)有価証券取引税 (株式)	12 (12)	0.007 (0.007)
(c)その他費用 (保管費用)	12 (12)	0.007 (0.007)
合計	43	0.025

作成期中の平均基準価額は、172,644円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：71銘柄)

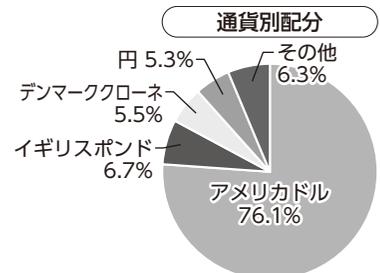
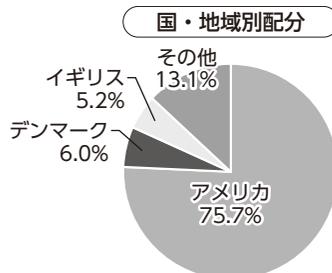
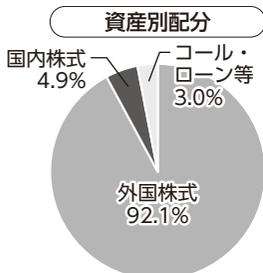
順位	銘柄	種類	国・地域	業種/種別	比率(%)
1	ELI LILLY & CO	株式	アメリカ	医薬品	9.7
2	UNITEDHEALTH GROUP INC	株式	アメリカ	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	7.1
3	NOVO NORDISK A/S-B	株式	デンマーク	医薬品	5.5
4	ASTRAZENECA PLC	株式	イギリス	医薬品	5.0
5	MERCK & CO. INC.	株式	アメリカ	医薬品	4.6
6	BOSTON SCIENTIFIC CORP	株式	アメリカ	ヘルスケア機器・用品	4.5
7	INTUITIVE SURGICAL INC	株式	アメリカ	ヘルスケア機器・用品	4.1
8	NOVARTIS AG-REG	株式	アメリカ	医薬品	3.3
9	VERTEX PHARMACEUTICALS INC	株式	アメリカ	バイオテクノロジー	2.5
10	ABBVIE INC	株式	アメリカ	バイオテクノロジー	2.5

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※原則、国・地域については、BloombergのCountry of Riskを表示しています。

※業種はGICS（世界産業分類基準）の産業分類によるものです。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

種別構成等



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、BloombergのCountry of Riskを表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ ファンドの参考指数である『MSCI ワールド・ヘルスケア指数（米ドル建て税引き後配当込み）』について

参考指数は、MSCI ワールド・ヘルスケア指数（米ドル建て税引き後配当込み）の基準日前営業日の指数をグローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンドの設定時（2000年7月28日）を10,000として三菱UFJアセットマネジメントが指数化したものです。

出所：MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

● 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの数値及びTOPIXに係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

● MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● NOMURA-BPI（国債）

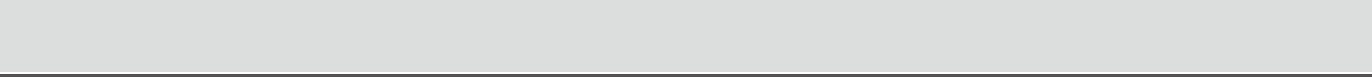
NOMURA-BPI（国債）とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

● FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

● JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバースファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバースファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。





三菱UFJアセットマネジメント